サイバーセキュリティ岐阜

令和７年 ４月発行
第９９号

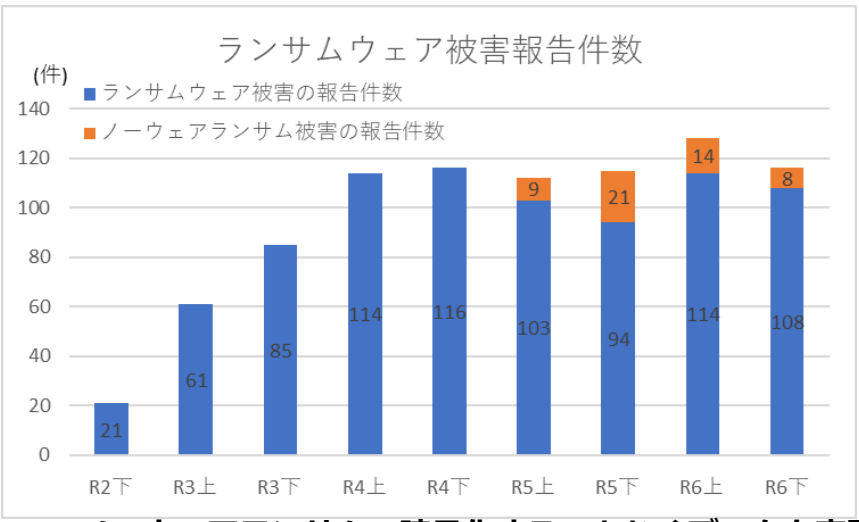
岐阜県警察本部
サイバー犯罪対策課
058－271-2424

ランサムウェアの被害拡大

中小企業の被害件数が増加！

ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価を要求する不正プログラムです。

近年は、データを窃取した上、「対価を支払わなければデータを公開する」等と対価を要求する二重恐喝の被害も多くみられます。



ランサムウェア被害件数を組織規模別に令和５年と比較すると、大企業の被害件数が減少する一方、**中小企業の被害件数は37%増加**している。

※　ノーウェアランサム：暗号化することなくデータを窃取した上で、対価を要求する手口。

令和6年におけるランサムウェアの被害報告件数は、222件であり、高水準を推移している。

また、政府機関、金融機関等の重要インフラ事業者等におけるDDoS攻撃とみられる被害や、情報窃取を目的としたサイバー攻撃等が相次いで発生している。

対策

- ✓ VPN機器等の脆弱性を塞ぐ
- ✓ アクセス権等の権限を最小化する
- ✓ ウイルス対策ソフト等を導入する
- ✓ ウイルス感染したパソコン等をネットワークから隔離する

出展：令和6年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R6/R6_cyber_jousei.pdf